

DV加害者プログラム in ぐんま

～大切な家族、子ども、そして…自分自身のために～

DVは「人権侵害」であり「犯罪行為」です。

「かかあ天下」と言われている群馬県でも、女性の3人に一人がDV(家庭内暴力)を受けたことがあり、6人に一人が何回も、10人に一人が何年もの間、継続して複合的なDVを受け続けています。

NPO法人ひこばえでは平成26年6月から、女性や子ども達の支援のための「DV加害者プログラム」を行っています。既に東京で10年以上も「加害者プログラム」に取り組んでいる民間機関「アウエア」の方法(カリフォルニア州認定プログラムを応用)をベースに、実施しています。

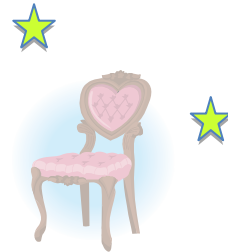
DV行動の要因は「力と支配」「暴力容認」「ジェンダーバイヤス」(男らしさ・女らしさ)などの間違った価値観・考え方にあります。ここでは、相手を「支配する目的」をもって、その手段として力(暴力)を使う行為は「自らが選択した行為である」ということに気づいてもらい、暴力の「責任を取る」こと、相手への共感と尊重の気持ちを持って、非暴力的に取り組むことを促すものです。

これは治療ではありません。カウンセリングでもありません。グループで教材を使って、主体的に自分の問題について学び、対等平等な関係を築くための心理教育、「更生教育プログラム」です。

毎週 2時間、52回以上(1年間以上)通い、気づきを重ねることで考え方を修正していくプログラムです。

プログラムの対象者

- DVをやめたいという意思を持つ人。
- 精神疾患のない人。
- アルコールや薬物依存症でない人。
- パートナー面談が可能な人。



まずはご相談下さい。
秘密は厳守致します。

- 面談1回 5,000円、グループ参加1回 3,000円
- グループは3名以上で開催(場所は後日面談後通知)
- ファシリテーターはアウエアの「加害者プログラム」100時間研修修了者。

【申し込み・お問い合わせ先】

Tel & Fax: 027-215-5606

女性と子どものためのぐんま支援センター 特定非営利活動法人



〒371-0018 前橋市三俣町1-4-13

mail:hikobae@major.ocn.ne.jp

<http://hikobaegunma.sakura.ne.jp/>



* 身体だけへの暴力が「DV」と思っていないか？

「DVの種類」には ①身体的暴力 ②精神的暴力 ③性的暴力 ④経済的暴力 ⑤社会的暴力などがあります。

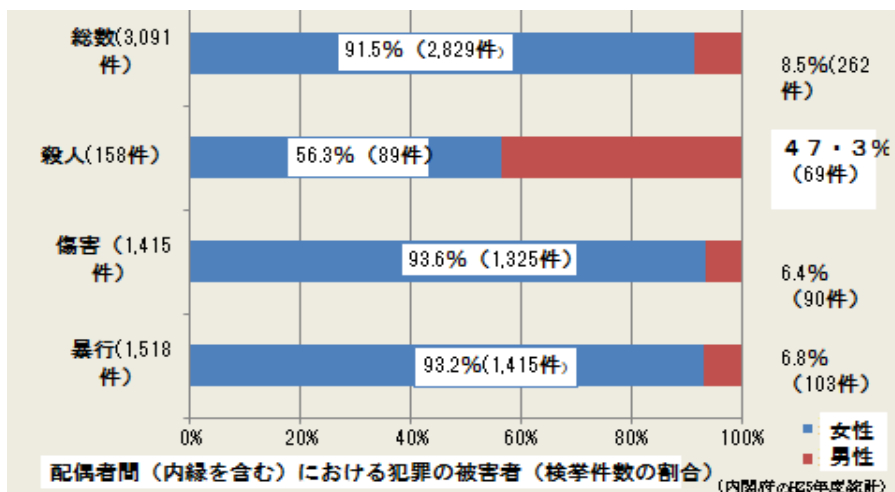
これらのDVは一種類だけで行われることはなく、殆どいくつかのDVが複合的に行われています。

* 自分がDVをしていないか、されていないか、チェックしてみましょう

(アウェア HP 「デートDVチェックリスト」より)

- (1) 相手が自分の意見に従わないと、イライラしたり 怒ったりしますか
- (2) 相手が自分だけでなく、他の人とも仲良くしているのを見ると、嫉妬したり、責めたりしますか
- (3) 相手の行動が気に入り、誰と、どこへ行くのか、どんな話をしたのかをしつこく聞いたり、携帯に「早く帰れ」と電話をいれたり、メールをしがちですか
- (4) 相手に「誰々とは付き合くな」「そこには行くな」「自分の言うとおりにせよ」等と指示しますか。そして、それは「お前のためにやってあげている」と思っていますか
- (5) 相手に向かって「俺(私)とあいつ(人、物、ことがら等)のどっちが大事なんだ！」という言い方をしますか
- (6) 腹が立つと、大声を出して脅したり、物をたたいたり、壊したり、投げつけたりしますか
- (7) 腹が立つと、相手の腕や肩をつかんだり、押したり、蹴とばしたりすることがありますか
- (8) 自分が、自分自身の問題や他のことでイライラしているのに、「お前が俺をイライラさせる！」「お前のせいだ、お前が悪い！」と、相手のせいにして責めたり怒鳴ったりすることがありますか
- (9) 相手のしたことが気に入らない時に、「誰のお陰で食べさせてもらっていると思っているんだ」等と、声高にとがめたりすることがありますか
- (10) いつも自分が相手をリードし、相手を教育しなければと思っていますか
- (11) 二人のことで、相手の考えや希望を尊重しないで、自分一人で決めてしまうことが多いですか
- (12) 相手は、自分よりも劣っている人間だと思っていますか
- (13) 相手は、「自分のものだ」、「夫婦は一心同体だ」と思っていますか

※以上、ひとつでも該当する項目があれば、それはDVです。自分の態度・行動を見直しましょう。



DV被害者は
93%が女性
です。
どうして？



**3日に1人の妻が…、6日に1人の夫が…
殺人にまで至る危険性がある**